

= J A O 創 立 3 0 周 年 記 念 =  
第 3 0 回 全 国 ア マ チ ュ ア オ ー ケ ス ト ラ フェ ス テ ィ バ ル 新 潟 大 会  
- 新 潟 交 響 楽 団 創 立 7 0 周 年 記 念 国 際 大 会 -

**開 催 概 要**

開催期日 2 0 0 2 ( 平 成 1 4 ) 年 8 月 2 日 ( 金 ) ~ 4 ( 日 )

主要行事日程 ( 一 覧 )

<会場名>

8月2日(金)

12:00~ 受 付 <りゅ~とぴあ>  
13:00~ 開 会 式 <りゅ~とぴあ>  
14:30~ 練 習 開 始 <りゅ~とぴあ>及び<音楽文化会館>  
19:00~ パート別懇親会 <\*ミナミプラザさくら茶屋>

8月3日(土)

9:30~ 練習及び運営協議会<りゅ~とぴあ>及び<音楽文化会館>  
19:00~ 歓迎レセプション<ホテル新潟>

8月4日(日)

9:30~ 練 習 <りゅ~とぴあ>及び<音楽文化会館>  
14:00~ 演 奏 会 <りゅ~とぴあ>  
16:00~ 閉 会 式 <りゅ~とぴあ>

「りゅ~とぴあ」とは、「新潟市民芸術文化会館」の呼称です。

開会式 <歓迎演奏> 【新潟市ジュニアオーケストラ】 演目(未定)

出席者 新潟県知事、新潟市長、大会関係者、マスコミ、一般参加者

運営協議会

出席者 (社)日本アマチュアオーケストラ連盟会員オーケストラ代表者

歓迎レセプション

出席者 高円宮憲仁殿下、新潟県知事、新潟市長、大会関係者

演奏会及び閉会式

出席者 高円宮憲仁殿下、新潟県知事、新潟市長、大会関係者、一般参加者

\*入場料 指定席S:2000円 指定席A:1500円 指定席B:1200円

【社会人Aオーケストラ】(\*150名)

サン・サーンス 交響曲第3番 八短調 Op.78「オルガン付」

指揮:秋山 和慶(東京交響楽団 音楽監督・常任指揮者)

\*ゲストコンサートマスター:徳永 二男

【社会人Bオーケストラ】(\*150名)

ラヴェル「ダフニスとクロエ」第2組曲

指揮:下野 竜也

\*ゲストコンサートマスター:三浦 章広

【ナショナル・ユースオーケストラ・オブ・カナダ】(100名)

\*ベルリオーズ 序曲「海賊」

\*ラヴェル ラ・ヴァルス R. シュトラウス 交響詩「ドンファン」

指揮:秋山 和慶

【歓迎オーケストラ=新潟交響楽団】

ベルリオーズ 序曲「ローマの謝肉祭」Op.9

指揮:秋山 和慶

\*コンサートマスター:松村 牧子

大会の正式名称が決まりました。

= J A O 創 立 3 0 周 年 記 念 = 第 3 0 回 全 国 ア マ チ ュ ア オ ー ケ ス ト ラ フェ ス テ ィ バ ル 新 潟 大 会 - 新 潟 交 響 楽 団 創 立 7 0 周 年 記 念 国 際 大 会 -  
「\*」印は、予備調査時からの追加または変更箇所です。

## 連絡事項・諸注意

### 正式参加申込

#### 既に予備申込がお済の場合

同封の予備申込受付リストをご参照頂き、記載事項に間違いが無ければそのまま、間違い等ございましたら、加筆修正いただき、締め切り期日までに事務局までご返送ください。

・予備申込の Fax 等が一部不鮮明な場合がありますして登録できていない場合もございます。必ずご確認ください。

・新規の項目（CD、写真の申込み）も忘れずに記入して下さい。

#### 新規にお申込みの場合

別紙申込用紙に必要事項を洩れなくご記入の上、締め切り期日までに事務局までご返送ください。特に参加部門、演奏楽器パート（バイオリンの方は1st, 2ndの別を明記願います）コントラバスの方は4弦5弦の希望、コントラバスを含む大型楽器の方は楽器を持参されるかどうかなどを洩れなく記入してください。

お申込み締め切り期日：2002（平成14）年4月10日（水）（当日消印有効）

なお、参加申し込み多数の場合は、調整させていただくことがあります。この場合、各部門とも予備調査にて申し込みのあった方、全日程に参加できる方を優先いたします。

#### 参加費 社会人 6,000円

参加費は歓迎レセプション・昼食を含んだ諸経費です。8月2日（金）夜のパート別懇親会の費用は含まれません。ただし、歓迎レセプションの参加、不参加、昼食の要、不要にかかわらず参加費はお支払いいただきますのであらかじめご了承ください。お支払い方法につきましては、銀行振込にてお願い致します。詳細は参加者確定後、参加要項にてお知らせ致します。

#### 交通手段、宿泊について

本大会の交通手段・宿泊に関しましては、佐渡汽船観光株のご協力を得て、手配を進めております。直接佐渡汽船観光株「第30回全国アマチュアオーケストラフェスティバル新潟大会」担当までお申し込みいただくか、個人で手配していただく形となります。参加者の確定後に、宿泊申込用紙を参加要項と併せてご案内いたします。

#### 正式申込ご返送先、お問い合わせ

第30回全国アマチュアオーケストラフェスティバル新潟大会事務局

〒951-8068 新潟市上大川前通 4-36

FAX：025-229-2207

E-mail：[nso@fsinet.or.jp](mailto:nso@fsinet.or.jp)

URL：<http://www.gatakyo.com>

## 指揮者とコンサートマスターのプロフィール

秋山 和慶 <指揮>

Kazuyoshi Akiyama <Conductor >



1941年生まれ。故齋藤秀雄氏のもとで指揮法を修め、1963年に桐朋学園大学音楽学部を卒業。1964年2月に東京交響楽団を指揮してデビューした後、同団の音楽監督兼常任指揮者に就任し現在に至る。

トロント交響楽団の副指揮者、アメリカ交響楽団音楽監督、バンクーバー交響楽団音楽監督(現在桂冠指揮者)、シラキュース交響楽団音楽監督(現在名誉指揮者)を歴任。フィラデルフィア管弦楽団、ニューヨーク・フィルハーモニック、ボストン交響楽団、ロイヤル・フィルハーモニック管弦楽団、ケルン放送交響楽団、バイエルン放送交響楽団、スイス・ロマンダ管弦楽団、チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団などに客演している。

1994年にはシェーンベルクの歌劇「モーゼとアロン」(演奏会形式)、1997年にはシェーンベルクのオトリオ「ヤコブの梯子」、ヤナーチェクの歌劇「利口な女狐の物語」(セミ・ステージ形式)、1999年にはラッヘンマン：歌劇「マッチ売りの少女」(演奏会形式・日本初演)を取り上げるなど常に新たな挑戦を続けている。

1975年第6回サントリー音楽賞、1993年第8回京都音楽賞大賞、1995年毎日芸術賞、1995年芸術選奨文部大臣賞、1996年モービル音楽賞など受賞多数。現在、東京交響楽団音楽監督兼常任指揮者のほか、1998年4月より広島交響楽団首席指揮者兼ミュージック・アドバイザーを務めている。

下野 竜也 <指揮>

Tatsuya Shimono <Conductor >

1969年生まれ。1992年鹿児島大学教育学部音楽科卒業。1993年から1996年まで桐朋学園大学音楽学部附属指揮教室で学ぶ。

1996年にはイタリア・シエナのキジアーナ音楽院でオーケストラ指揮のディプロマを取得。1997年から1999年まで大阪フィルハーモニー交響楽団指揮研究員を務め、朝比奈隆、外山雄三、若杉 弘、ジャン・フルネをはじめとする一流指揮者のもとで着実に研鑽を積み、その間1999年4月には朝比奈隆の推薦により大阪フィルハーモニー交響楽団定期演奏会で前半のプログラムを指揮し絶賛を博した。

平成11年度(1999年)文化庁派遣芸術家在外研修員に選ばれ、1999年9月より2001年6月までウィーン国立音楽大学に留学。昨年11月に行われた第12回東京国際音楽コンクール<指揮>において見事優勝(第1位)を果たし、あわせて齋藤秀雄賞を受賞、一躍脚光を浴びることになった。

いままでに秋山和慶、黒岩英臣、石井 調、広上淳一、堤 俊作、チョン・ミュンフン、ユーリ・テミルカーノフ、レオポルド・ハーガー、湯浅勇治、エルヴィン・アツツェルの各氏に師事。大阪フィル、日本フィル、札幌交響楽団、広島交響楽団、仙台フィル、ブラティスラヴァ放送響、ルーマニア国立オラデア・フィルなどに客演を重ねている。



徳永 二男 <ヴァイオリン>

Tsugio Tokunaga <Violin >



ヴァイオリニストの父茂および鷺見三郎氏に師事。桐朋学園大学音楽科入学、齋藤秀雄氏に師事。

1966年、当時日本楽壇史上最年少のコンサートマスターとして東京交響楽団に入団。1968年、文化庁在外派遣研修生としてベルリンへ留学し、ミシェル・シュヴァルベ氏に師事。

1976年NHK交響楽団のコンサートマスターに就任。その後首席第一コンサートマスターを経て、ソロ・コンサートマスターの重責を担い、長年NHK交響楽団の「顔」として抜群の知名度と人気を誇る。

NHK交響楽団を退団後は、1995年から東京のJTアートホールの音楽監督を務め、1996年からは宮崎国際室内音楽祭の総合プロデューサーを務めるなど、日本の室内楽の分野における中心的立場を確固たるものとしている。

最近、「バガニーニ：24のカプリース全曲」を録音したCDを発売し絶賛される。また、彩の国さいたま芸術劇場主催「彩の国ベートーヴェン・シリーズ」における3回にわたるヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会が大きな話題となり、この演奏はライブ収録され、CD発売も予定されている。

2001年には楽壇生活35周年を迎え、それを記念したNHK交響楽団との協奏曲の夕べを成功裡に終え、秋にはイギリス室内管弦楽団との日本ツアーを予定している。知名度の高いスター・ヴァイオリニストとしての顔を持つと同時に、熟成された豊かな音楽性に裏打ちされた演奏が各方面で絶賛されている。

三浦 章広 <ヴァイオリン>

Akihiro Miura <Violin >

1961年大阪に生まれ、4歳よりヴァイオリンを始める。筑波大学第二学群人間学類において、教育学、心理学、心身障害学を学ぶ。1984年同大学を卒業。同年第53回日本音楽コンクール入選。翌年NHK交響楽団に入団する。その年第21回東京国際音楽コンクール弦楽四重奏部門において齋藤秀雄賞受賞。1993年大阪、東京にてデビューリサイタルを行ない、高い評価を受ける。NHK交響楽団第1ヴァイオリン・フォアシュベラーを経て、1999年には、新星日本交響楽団首席コンサートマスターに就任。その他、鎌倉芸術館ソリスト、ソロリサイタル、オーケストラとのコンチェルトの協演、ポアヴェール・トリオ(東誠三〔Pf〕、藤森亮一〔Vc〕)を始めとする室内楽など、各地で活発な演奏活動を行なっている。また、NHK-FMリサイタル等、放送にも度々出演している。山梨学院ミュージックアカデミー、トヨタ・アマチュア・ユース・オーケストラ・キャンプ等の講師として後進の指導にも当たっている。これまでに中島美子、徳永二男、フェリックス・アーヨ、エルネ・セベスティアンの各氏に師事。

